



「日本の小学校では卒業するまでに漢字をいくつ習うのでしょうか」

校長 赤羽 広美

今日から6月、気が付けば、1学期の半分が終わってしまいました。昨年度は6月から学校が再開され、新型コロナウイルス感染症対策に迫られた月でもありました。そしてもう一つ、1年前に課題としてあがっていたのが、学習です。3か月の遅れをどう取り戻すか、ということと、全面実施となった学習指導要領にどう対応していくか、ということです。新学習指導要領には、学校で学んだことが、明日、そしてその先の人生につながってほしい、これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい、という願いが込められています。



学校では日々授業がきちんと進むように計画しています。でも、授業で学習したことの中で、できないこと、分からないことを、そのままにしているお子さんはいませんか？ 私たちは誰でも苦手なものがあります。それでも繰り返して練習するうちに、苦手でなくなったり、得意になったりもします。苦手を克服できない気持ちは「劣等感」となり、やがて「自信」をなくし、「やる気」を奪ってしまいます。

学ぶ楽しさの基本は、身の回りにあることに「なぜだろう？」と疑問を見つけ、その「なぜ」を解決するために「考え」「調べてみる」こと、そして、「ああ、そうだったのか」と分かる喜びや達成感をもつことです。学校では、学ぶ楽しさを味わわせるために、意欲を育て、考えさせ、調べ方を学ばせ、それを伝える力を育てていきます。

ご家庭でも、「すごいね」「どうやったらできたの」「よくわかったね」「いい考えだね」「くわしく教えて」「よく気が付いたね」「さすが」「これからもよろしくね」と子供たちの話をよく聞き、やる気になる言葉をかけてあげてください。子供たちに自信とやる気を育てましょう。よろしくお願いいたします。



表題の「日本の小学校では卒業するまでに漢字をいくつ習うのでしょうか」の答えは、1026字です。漢字を覚えるのが一番多いのは4年生で202字、少ないのは1年生で80字です。これを「こんなに多いの？」「そんなもんか」どちらに感じましたか。日本語は、ひらがたと漢字が合わさって表記されており、さらに漢字に意味が含まれているので世界で一番早く読むことができ、意味が理解できる言語だといわれています。文章も外国語に比べて短いそうです。日本語ってすごいですね。

ちなみに新聞で使われている漢字は2136字。小学校で約半分の漢字を習ったことになります。日本語の文章は仮名まじりなので、小学校の漢字を覚えれば、世の中のたいていの文章が読めます。すごいことだと思いませんか。だからこそ、漢字練習をなまけないで、しっかりと漢字を覚えてほしいと思います。

※1年生は80字、2年生は160字、3年生200字、4年生202字、5年生193字、6年生191字、全部で1026字を小学校で習います。